

令和4年度の取組

徳

「おもいあう」子を育てるために

【重点目標】 互いを思い合い大切にしようとする子の育成

「優しく温かな関わりと生活指導上の諸問題の解消」

- 【成果目標】
- 1 学期末の児童アンケートで、「学校は、楽しい」と肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。
 - 2 学期末の児童アンケートで、「友達にやさしく声を掛けたり、助けたりして、友達を大切にしている」と答える児童の割合を90%以上にする。

【目標達成のための手立て】

- 1 ①毎月のアンケートをもとに児童との面談を行い、困り感に寄り添って解決の方策を立てる。
②自分がされていやなことはしない、言わない風土づくりに努める。
- 2 ①学校職員が優しく接したり、温かく励ましたりするモデルとなり、安心できる居場所づくりを行う。
②よいところを認め合ったり称賛したりする場を意識的に設定する。また、そうした児童の姿を取り上げ、認める。

知

「まなびあう」子を育てるために

【重点目標】 確かな学力の育成

「基本的な学習内容の定着と思考力を高める授業づくりの工夫」

- 【成果目標】
- 1 国語、算数のワークテストで期待得点以上の児童を75%以上にする。
 - 2 家庭学習を10分×学年（1年生は20分）以上行う児童を85%以上にする。

【目標達成のための手立て】

- 1 ①指導と評価を一体化させることを意識して授業改善を行う。
②個々のつまづきを把握したり、単元途中でも細かな評価を行ったりして、個別指導を適切に行う。
③構造的な板書とノート指導に取り組み、大単元に1回以上児童のノートを評価する。
④朝学習などの時間に反復学習を行ったり、アシストシートやWebサポート問題・発展問題を積極的に活用したりする。
- 2 ①家庭学習プランニングタイムを設定し、自己マネジメント力の向上を図る。
②自主学習の取組を推奨し、よい見本を保護者や児童に紹介する。教科書を使った自学の取り組み方を指導する。
③家庭学習強調週間を年3回行い、習慣付けを図る。

体

「きたえあう」子を育てるために

【重点目標】 運動を楽しむ経験を積み重ね、

自分で目標を立てて継続的に取り組む運動習慣の確立

- 【成果目標】
- 1 体育の時間や休み時間に、めあてを立て意欲的に運動に取り組む児童を85%以上にする。
 - 2 メディアを利用する時間について自分のめあてを守る児童、学年の就寝時刻を守る児童を80%以上にする。

【目標達成のための手立て】

- 1 ①気軽に運動に取り組むことのできるスペースを開設する。(室内外)
②定期的にイベントを開催し、体を動かしたり、競い合ったりする楽しさを味わう。
- 2 ①家庭学習強調週間に家庭と連携し、クラスルームのフォームを使用する。家庭でメディアの使い方や就寝時刻についての決まりを立てる。
②メディアコントロールや就寝時刻を含めた生活習慣に関する保健指導を全学年で行う。